

サイエンスフェスティバル2011 特別企画

第5回富山大学理学部

サイエンスカフェ

ゆったり、まったりサイエンス！
お茶でもしながら、科学者と話してみませんか？

話題：テラヘルツ波で宇宙を探る

- テレビショッピングの話とはだいぶ違う遠赤外線とマイナスイオンの話 -

話題提供：富山大学理工学研究部 松島 房和 教授

日時：10月1日(土) 15:00～16:00

場所：玄関ホール2階



(長野県野辺山にある口径45mの電波望遠鏡 写真提供：国立天文台)

宇宙にある分子(星間分子)を手がかりに宇宙の歴史を調べることができます。星間分子には、私たちのよく知っている分子もありますし、地上では珍しい分子もあります。また、フラスイオンやマイナスイオンなどもあります。人間が行くことのできない遠くの宇宙にある分子を調べるためには、遠赤外の光(テラヘルツ波ともいわれます)を調べることが大事になってきました。

遠赤外やマイナスイオンというとテレビショッピングでもよく聞く言葉ですが、それとどういう関係があるのでしょうか。サイエンスカフェでは遠赤外光(テラヘルツ波)とはなにかという話から、分子を手がかりにした宇宙の研究までをできるだけわかりやすくお話ししようと思います。